

Mac 版 Keynote を使用した収録方法

Mac での収録方法として、Keynote を使用した収録方法を紹介します。Keynote のスライドショー時の収録が可能です。スライドとそのスライドについての解説だけで成立する授業スタイルに最適な収録方法です。操作も簡単なので、Mac ユーザーにオススメの収録方法です。



監修
全学教育機構
永溪 晃一

収録前の準備



明瞭な音声を実現するために、ヘッドセット（マイク）の使用をオススメします。ここではヘッドセットの使用を前提として説明します。



画面左上のアップルマークからシステム環境設定をクリックします。



サウンドアイコンをクリックします。



出力を選択し、接続したヘッドセット（マイク）を選択します。

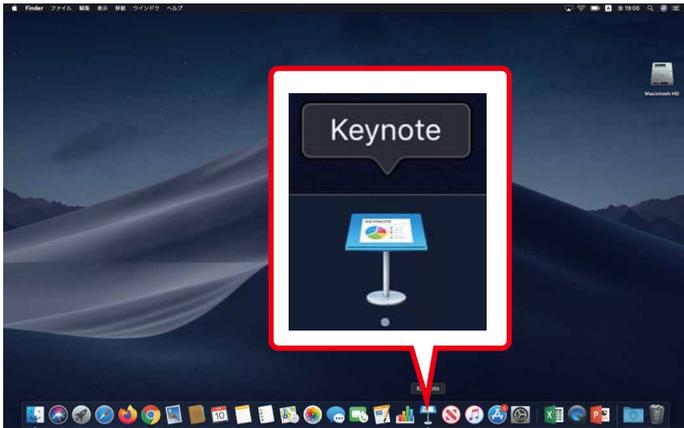


入力を選択し、接続したヘッドセット（マイク）を選択します。

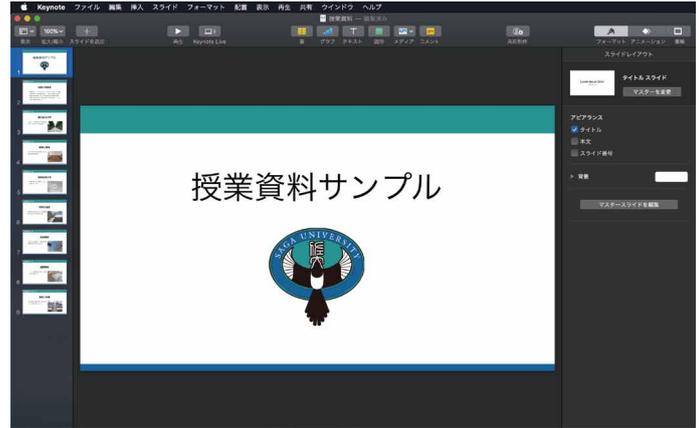


普通に発声して、入力レベルが約8割程度振れるように音量を調節します。

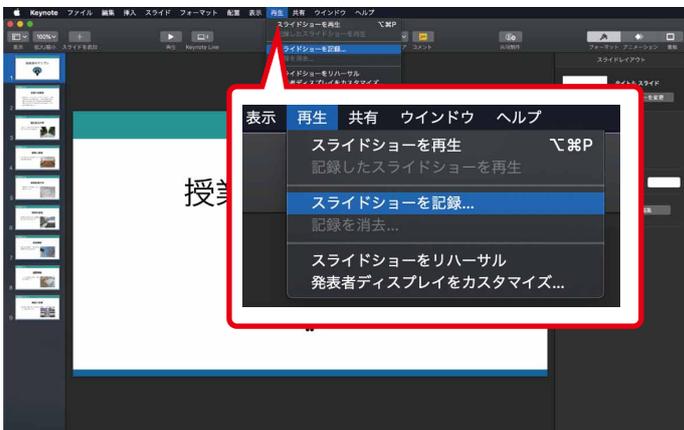
Keynote を使用した収録方法



Keynote をクリックして開きます。



授業で使用するスライドを作成します。



再生からスライドショーの記録をクリックします。



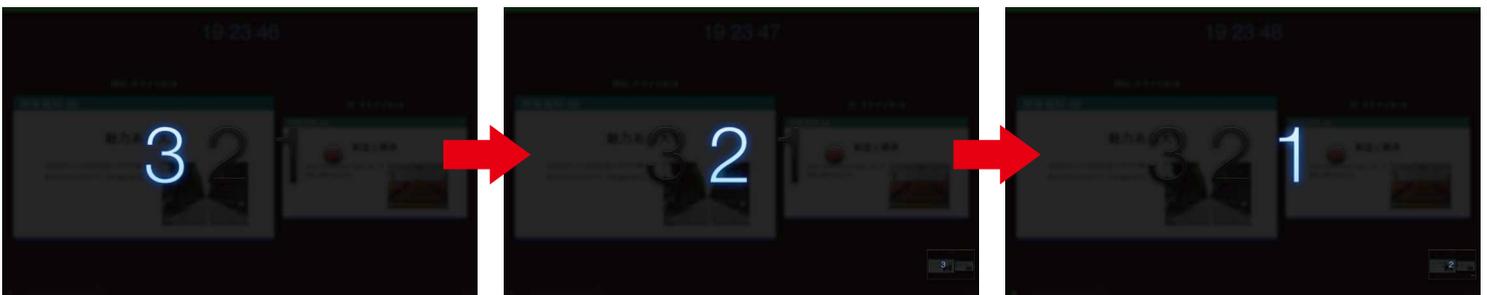
録画画面に切り替わります。



ヘッドセットが正しく設定されていれば、音声がかかります。



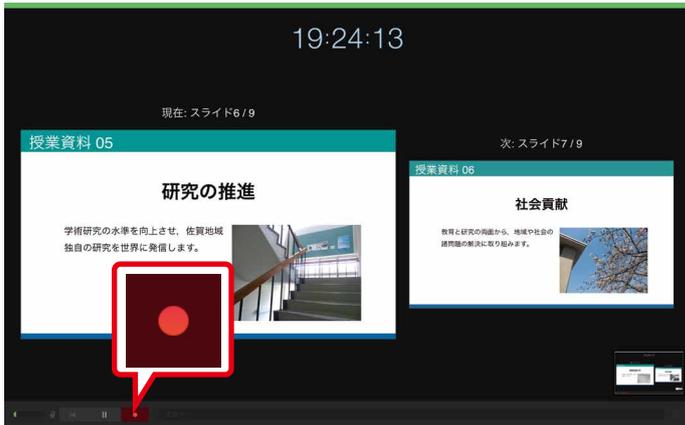
録画ボタンをクリックします。



3カウント後に録画が開始されます。



録画が開始されたら通常のプレゼンテーション（授業）と同様の方法で、スライド毎に解説していきます。



録画中は、録画ボタンが赤く表示されます。



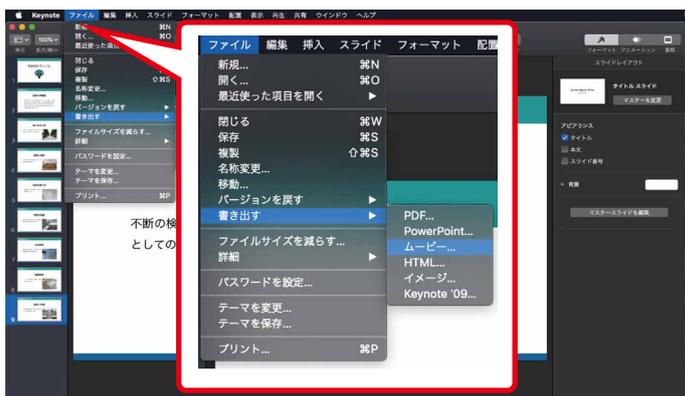
一旦録画を停止したいときは、一時停止ボタンをクリックします。再開時も同様にクリックします。



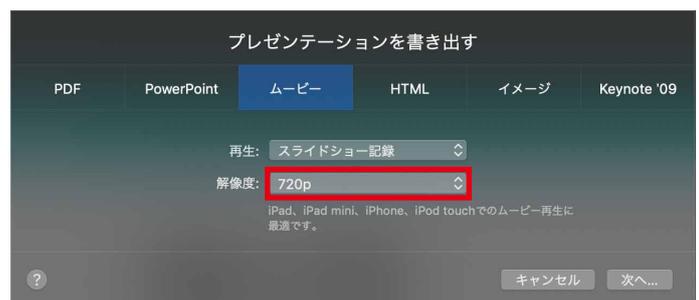
最後のスライドの解説が終了したら、録画ボタンを押して録画を停止します。



右上の × ボタンをクリックして録画面面を閉じます。（録画中は × ボタンで閉じれません）



録音されたスライドを映像化します。ファイルから書き出すを選択します。



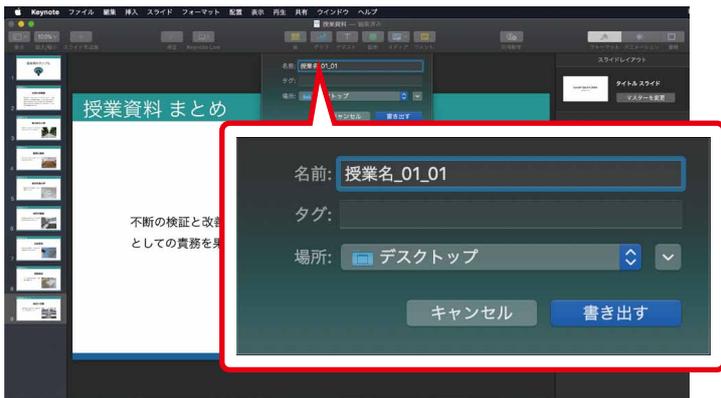
書き出し設定画面が表示されます。初期設定の解像度 720p をクリックして解像度を変更します。



メニューから**カスタム**を選択します。



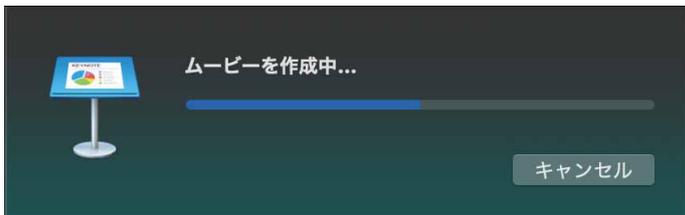
右側の入力ボックスに **480** と入力します。(左側の数値は連動して変更されます) 次へをクリック。



ファイルの保存場所を指定します。**ファイル名は日本語で入力できます**。「授業名_授業回_連番」等、自分が管理しやすい名前にします。

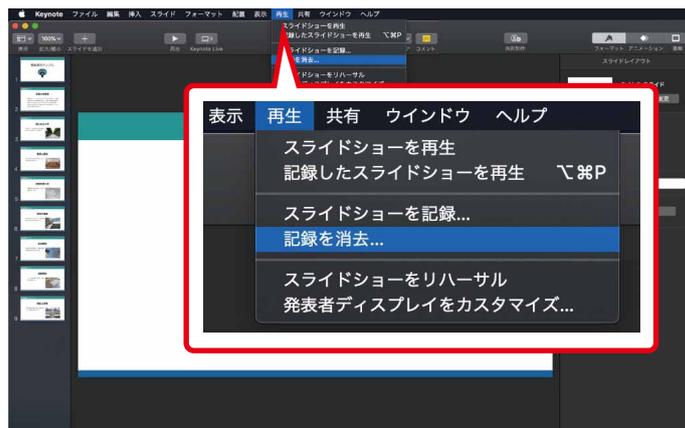


書き出すをクリックで、映像化が始まります。
※ ファイルは m4v 型式で書き出されます。



映像化には少し時間がかかります。作成時間はスライドの枚数や PC の性能に依存します。また、スライドにサイズの大きな写真を複数枚貼り付けていた場合なども影響します。完成したら必ず内容を確認しましょう。画質に不満がある場合は、書き出し設定の**解像度を 720** にして再び書き出してください。

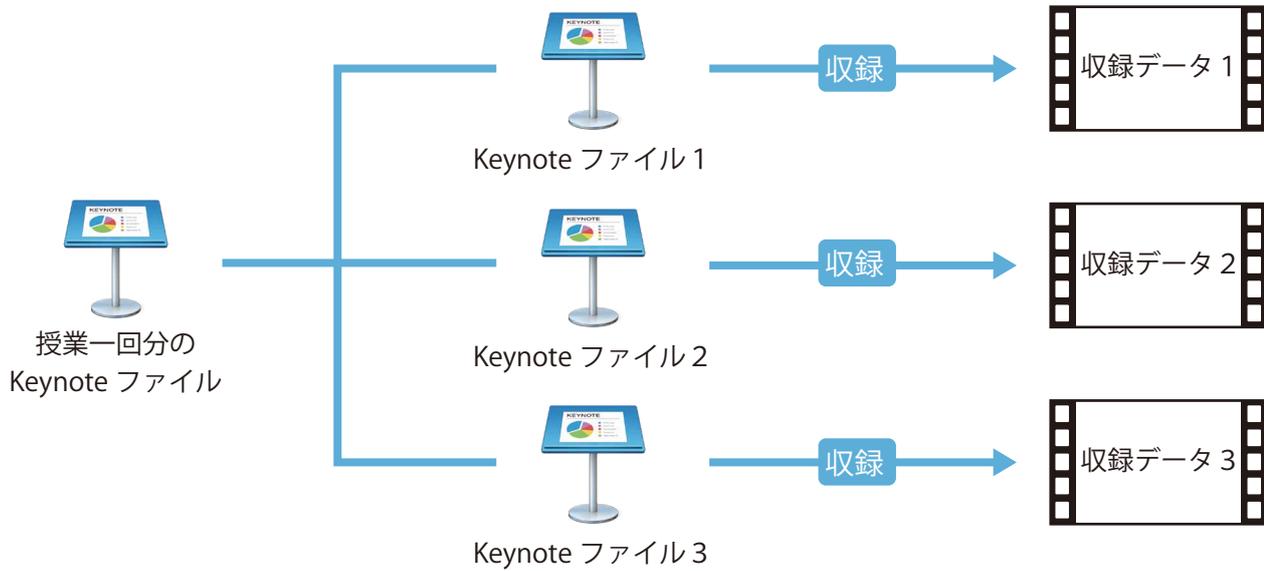
● 収録の修正



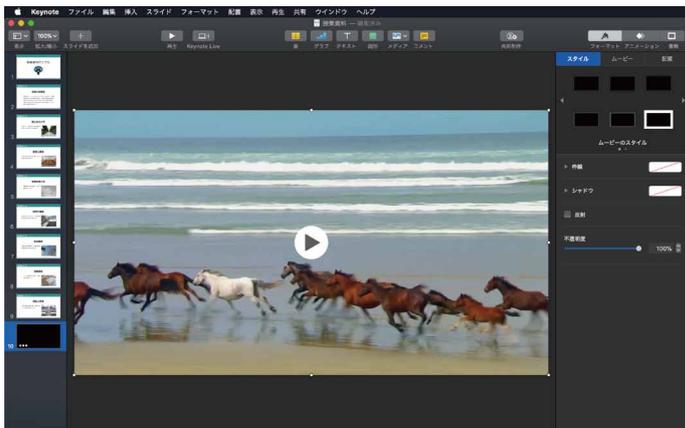
収録をやり直したい場合は、再生から**記録を消去**を選択し、収録されていた音声を一旦全てリセットします。その後、再び**スライドショーを記録**から録り直すことになります。残念ながら Keynote では PowerPoint のようなスライド単位の部分的な修正ができません。

● スライドの作成について（推奨）

一回の収録で全てのスライドを解説するのではなく、授業内容に応じてスライドを分割し、数個の Keynote ファイルにして収録することをオススメします。

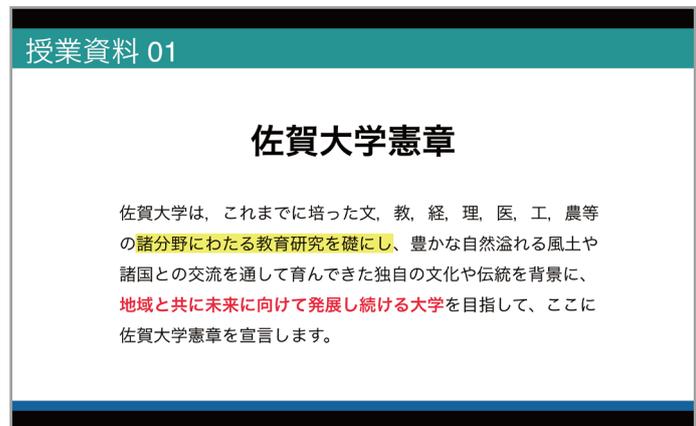


● 動画を再生する場合



動画を埋め込んだスライドも使用可能です。ただし音声だけの収録に比べ、映像化に時間がかかります。高画質 / 長時間の映像の場合は、**単独の授業資料として別動画でアップロード / リンク**することをオススメします。

● 要点を目立つように



録画中、スライド上のマウスカーソルの動きは記録されません。そのため、スライド中の指示する部分には、あらかじめ色を付けたり、ラインを引くなど目立つようにしておくといいでしょう。

Power Point 2019 を使用した収録方法



最新版 PowerPoint 2019 をお持ちの方は、「Power Point 収録方法その1 スライドショーの記録」と同様の方法で収録することができます。そちらの資料を参考にしてください。

※ Mac 版 PowerPoint 2016 は、スライドショーの記録はできますが映像化することができません